

市民の知恵と力を文化のまちづくりに 市民ホール基本構想を策定



ホールで発揮される市民の力（返子文化プラザホールでの市民音楽劇）

小田原の新たな芸術文化創造拠点として整備を進めている市民ホール。その基本的な整備の方針を定めた基本構想を、3月に策定しました。今年度は、より具体的な「基本計画」や、文化のまちづくりを推進するための「文化振興ビジョン」を、市民の皆さんと一緒に作っていきます。

問 文化政策課 ☎ 33-1709

市民ホール基本構想が 目指しているもの

小田原には、歴史や文化、芸術活動など多くの文化的な資産があります。子どもから大人まで、芸術文化を楽しみ、将来にわたって活動していく多くの潜在的な力もあります。しかし、市民会館の老朽化が、こうした力を十分に発揮することを制約してしまうこともありました。

市民ホール整備は、小田原の文化にとって大きな転換点です。確かな運営体制や市民参加の仕組みを作り、文化振興への取り組みを強化することで、市民の文化活動を豊かにし、創造力や人々の熱意がまちにあふれ、未来に開かれた文化都市となることを目指します。

一緒に考えてみませんか？ 平成23年度の取り組み

市民ホールは、これから長年にわたり市民が使い続ける施設となることから、多様な視点・価値観での検討が必要となります。そこで、ワーキング形式で市民検討委員会を開催し、提案された意見を、専門家で構成された委員会できりまとめ、「基本計画」を策定します。

また、小田原市の文化力の向上を目指し、市が取り組むべき文化振興の指針を定めるため、市民参加による策定検討委員会を設置し「文化振興ビジョン」を策定します。

参加募集 市民ホール整備レクチャー研修会

基本計画や文化振興ビジョン策定のため、先進都市で文化活動・まちづくりなどに実際に携わっている専門家や施設の館長などのお話を聞きながら、将来の小田原の文化活動やまちの姿などを考えてみませんか？

第1回

日時：6月18日(土) 13:00～16:00

場所：保健センター大研修室(3階)

第2回

日時：6月26日(日) 13:00～16:00

場所：市役所大会議室(7階)

事前申し込みは不要。詳しくは文化政策課まで。

使いやすく親しまれる 施設の整備（ハード）

市民の多様な文化活動やプロフェッショナルな演出要求にもこたえられる1,000席～1,200席規模の多目的ホール。200席～300席規模の多目的小ホール。多様に使える400平方メートル



まちにあふれる文化活動（座・高円寺）

にぎわいを生み出す 文化事業の整備（ソフト）

市民ホール整備には大きな投資が必要となります。その投資を生かす文化活動の事業内容を明確にしていく方針も基本構想で定めました。長期的な視野に立った文化政策として、「そだてる」育成普及、「感じる」鑑賞事業、「つくりあげる」創造参加、「つどい」交流する「施設運営」を使命とし、「芸術文化創造センター」の役割を持った施設として整備します。

ル程度の展示スペース。オープンロビーやレストラン、カフェなどの交流系機能。練習室やリハーサル室、創造スタッフ室、託児室などの創造・支援系機能の整備も基本構想で位置づけています。